



表紙写真：「のびのびこどもひろば」より。獣医さんのお話

今号のトピック

地球温暖化について

■ 所長 西條保幸

9月になっても日中最高気温 35℃の日が続いています。一昔前には考えられない気温です。昭和の頃、9月と言えば紅葉が始まる季節。大学卒業の年、竹内まりやさんは「街は色づいたクレヨン画〜♪」と大ヒット曲 September を歌っていました。しかし今、9月は夏になりました。

地球温暖化は異常気象の原因？

私は CO₂ の排出＝地球温暖化＝異常気象の発生（ゲリラ豪雨や猛暑など）と、単純に思い込んでいました。しかし本当にそうなのか？そこで岡山地方気象台の方をお迎えして、地球温暖化について教えていただくことにしました。講師によると、異常気象はジェット気流の蛇行やエルニーニョ現象などの個々の自然要因が重なって発生する。このような偶然（自然のゆらぎ）は元々あったもので、地球温暖化が自然のゆらぎを作ったわけではない。しかし、温暖化に伴い気候のパターンが変わり、極端な現象が起りやすくなっている可能性はある。と慎重な見解を示されました。

平成30年7月の西日本豪雨

例えば、平成30年7月の西日本豪雨は、発達したオホーツク海高気圧と太平洋高気圧との間に梅雨前線が停滞したことが要因とされていますが、このような気圧配置はこれまでもあった。だから地球温暖化が豪雨の直接の原因ではない。しかし、温暖化により大気中の水蒸気量の増加が雨量増加に寄与したことは間違いないと説明されました。

さらに、岡山の年平均気温は過去の100年に1.4℃上昇。猛暑日や熱帯夜の日数は1990年代半ばを境に大きく増加。時間降水量50ミリ以上の発生件数も増加。このまま、二酸化炭素の排出を続けた場合、21

世紀末の岡山県の年平均気温は20世紀末よりも4.3℃上昇し、中国地方に降る激しい雨の回数は3.4倍になる、との報告を教えてくださいました。単純に考えると、昭和時代に暑い暑いと言っていた日中最高気温は32℃ぐらいだったと思うのですが、これが36℃超になるということです。

どうすれば良いの？

異常気象発生のメカニズムはさておいて、「温室効果ガスが増える→気温が上がる→こまることが起きる」という図式は確実に言えそうです。講師は、環境対策（温室効果ガスの排出削減）と、防災対策を併せて行なうことが重要とされました。しかし幸いにも、風水害対策は近年の気象予報技術と自治体の避難情報の発出により、ほぼ安心できる態勢が作られていると思います。防災情報も貴重で、平成30年災害における倉敷市真備町の浸水状況は、ハザードマップの浸水予想とほぼ一致していました。これら、防災情報を上手に活用すれば風水害には早め早めの対応ができるのではないかと思います。



最後に

災害が発生したとき、自治体では災害対策本部が設置され、被災者の救援・支援にあたります。しかし、大事なのは共助・公助よりも自助だと思います。地球温暖化の進む中、危険は増していると自覚して、防災意識を高め、平素から準備しておきたいと思っています。

能登半島豪雨災害で被害にあわれた方々に
心からお見舞い申し上げます。



1. 県北で初めての利用登録会を開催しました 電話リレーサービス利用登録会

8月17日（土）津山市中央公民館で、電話リレーサービス地域講習会（日本財団電話リレーサービス主催）を開催し、14人の参加がありました。初めての県北開催で意気込んでいたのですが、お盆明けの猛暑日でもあり、参加者が少なかったのが残念でした。講習内容は分かりやすさに重点を置き、「居酒屋の予約」「119番通報」の動画などを使いながら、講師の広末氏（日本財団）がユーモアを交えながら1時間程度説明をされました。

説明会終了後は未登録だったろう者の方がその場で登録作業を完了して電話リレーが使えるようになりました。通常、登録作業後は1週間程度の日数がかかるのですが、その場で使えるようになるのがこの研修会の魅力です。なお講師からは来年1月から使用が予定されている文字表示電話

（自分の声で用件を伝え、相手の声は文字で表示される）について情報提供がありました。現在登録されている方が新たに登録作業を行ったり、料金が変わったりすることはない、ということで少し安心しました。



センターではスマホを日常利用している方全員に電話リレーサービスを使っていただくよう普及に努めていきたいと思います。



2. 遠隔要約筆記研修会を開催しました 要約筆記者養成（現任研修）事業

岡山県では、コロナによる通訳者への感染を防ぐため、令和2年に遠隔による意思疎通支援派遣が始まりました。当初は病院受診などの個人派遣が主でしたが、聴覚障害者団体がZoom会議などで遠隔要約筆記を利用する機会も増えてきました。遠隔で行うには要約筆記の技術以外の知識も必要となることから、登録要約筆記者を対象に、今年度初めて研修会を開催することとなりました。基礎的な知識を学ぶ【講義編】、通信の設定や機材の接続など実践的な知識と技術を学ぶ【実技編】の全4回を開催します。

第1回を8月17日（土）きらめきプラザ401会議室で開催し48人の参加がありました。講師として香川県要約筆記サークルゆうあい理事長 陰山香織氏をおむかえし、遠隔通訳の現状と課題についてご講義いただきました。遠隔通訳で使用する機材の説明もあり、講師が実際に派遣で使っているマイクやミキサーなどを参加者が手に取って試す場面もありました。また、講師が地元の要約筆記者と利用者から集めた遠隔利用についてのアンケート結果の説明がありました。貴重な意見ばかりで、両者のメリット・デメリットを知ることで今後の活動の参考になりました。

続いて、岡山県難聴者協会の森会長から、利用者団体として期待することをご講義いただきました。オンライン会議が行われる背景や自身の経験、難聴者の遠隔会議で気を付けてほしいことなどのお話とともに、本研修会を通じて遠隔通訳の技術向上を期待する激励の言葉で締めくくられました。

最後に、Zoom会議を想定した遠隔通訳のデモンストレーションを行いました。手書き要約筆記はOHCで白紙に書いた文章をZoomに表示する方法を、パソコン要約筆記はキャプションラインを使って連携入力する方法を紹介しました。

次回からは実技編となります。第2回は手書き要約で10月5日、第3回はパソコン要約で11月9日、第4回もパソコン要約で1月19日に行います。



▲講義編講師 陰山氏（左）と森氏（右）



イベント お知らせ 参加費無料

主催・申込・問合せ 岡山県聴覚障害者センター

FAX 086-224-0236 電話 086-224-0221 E-mail okaty@kirameki-plz.com

いずれも手話通訳・要約筆記つき。参加費は無料です。悪天候等の状況により中止又は延期となる場合がありますので、センターのHPをご覧ください。



1 文化講演会「古代山城 鬼ノ城^{きのじょう}について」

桃太郎伝説を語るときに欠かせないのが鬼ヶ島。そのモデルのひとつになったのが鬼ノ城だと言われています。伝説のモデルとして取り上げられることの多い鬼ノ城。果たしてその実像はいかなるものであったのか、考古学の調査・研究の成果から鬼ノ城の真の姿に迫ります。

- 日 時：令和6年11月2日（土） 14:00～15:30
- 場 所：岡山県聴覚障害者センター 研修室
- 対象者：どなたでも参加できます
- 申 込：「文化講演会参加希望、氏名、連絡先（FAX または電話番号）」をご記入のうえ、FAX またはメールで聴覚障害者センターへお申込ください



2 災害救援専門ボランティア研修会 能登半島地震での支援活動の経験

令和6年能登半島地震に際し、岡山県は保健師等を被災地に派遣しました。第1陣として1月6日に珠洲市へ派遣された保健師をおむかえし、現地の被災状況や活動についてご講演いただきます。（当初9月1日に開催を予定していましたが、台風10号接近で11月10日に延期となりました）

- 日 時：令和6年11月10日（日）13:30～16:00
- 場 所：きらめきプラザ 3階 301会議室
- 内 容：①講演「能登半島地震での支援活動の経験」
講師 岡山県疾病感染症対策課 副参事 森本 健介 氏（保健師）
②遠隔通訳の実施訓練
- 対象者：登録手話通訳者、登録要約筆記者、聴覚障害者、聴覚障害者の福祉や防災に関心のある方
- その他：当日はおかやまマラソンが開催されます。これに伴い、きらめきプラザ周辺で交通規制が敷かれます。あらかじめ規制情報を確認してご来場ください。



のびのび子どもひろば

イベントのご報告

8月5日（月）、聴覚障害者センターで「のびのび子どもひろば」を開催しました。子ども（5人）と保護者、ボランティアなど合計23人の参加がありました（うち聴覚障害者5人）。

制服を着た職業の人の話を聞く「制服シリーズ」第4弾として、今年度は、岡山県動物愛護協会の獣医師の方をおまねきしました。パネルやぬいぐるみを使ってイヌ・ネコの特徴やさわり方のレクチャー、音だけではなく光で心音を表示する心音測定、令和4年から義務化された首の後ろのあたりに埋め込むマイクロチップのお話などがありました。

この他、大型紙芝居やプロジェクターを使った絵本の読み聞かせ、工作の時間は「宇宙人がきた！」というからくりおもちゃを作りました。



自主制作 DVD

◆「地方の手話 岡山県3」

全国各地の手話を紹介する「目で聴くテレビ」の「地方の手話」シリーズに当センターが制作した岡山県の手話も放送されています。このたび第三弾が完成しました。今回紹介するのは、新見市、東粟倉村、大佐町、柵原町の地名と、学校や卵などです。手話表現だけでなく、手話の由来やその土地の名物なども紹介します。手話キャスターは、前回に引き続き山本みち代さんに担当いただいています。



◆「ハマちゃん手話 字幕付き」①～③

「ハマちゃん手話」の字幕つき DVD が完成しました。ぜひご覧ください。

渡辺の

ほんなるほど!

今回のテーマ
「海外旅行の必需品」

海外旅行で役立つスマホの情報ををご紹介します。

1. 翻訳アプリ「グーグル翻訳」

文字や音声で入力した日本語を外国語に翻訳するアプリはいろいろありますが、「グーグル翻訳」のおすすめポイントは、オフラインで使えるところ。あらかじめ言語をダウンロードしておけば、ネットにつなげなくても翻訳できます。例えば、飛行中の機内でも外国の客室乗務員と会話することができます。

2. 海外旅行時の通信手段

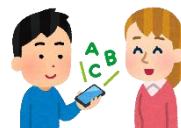
レンタルのポケット Wi-Fi は複数人が使用できて便利ですが、個人なら eSIM（イーシム）がおすすめ。自分のスマホが eSIM に対応した機種であれば、オンラインで申し込み、簡単な操作をするだけで外

国のネット回線につながることができます。旅行後、ポケット Wi-Fi のような返却手続きは不要です。

3. コンセントの規格に注意!

外国でスマホを充電するとき、コンセントの規格が違う場合があります。その国に対応した変換プラグが必要です。

15 年前にタイ旅行に行ったときはこんな便利なものはありませんでした。もし当時スマホや翻訳アプリがあれば、現地の人とスムーズに会話できて、もっと旅行が楽しめたのと思います。外国に行かれるときはぜひご活用ください。



編集後記

8 月下旬に最強クラスの台風 10 号が接近。動きが遅く影響が長引くと予想されたことから講座や研修会を中止にしました。9 月 1 日に予定していた災害救援専門ボランティア研修会もそのひとつ。中止の決定とともに代替え日を検討しました。参加者も多く遠隔通訳訓練も行うことから、毎回きらめきプラザの大きい会議室で行っていますが、予約状況を見ると土日のほとんどが満杯。唯一空いていたのが 11 月 10 日。おかやまマラソンがある日なのでなるべく避けたかったのですが、他に予約がとれずやむなくこの日となりました。参加者にはご不便をおかけしますがご協力のほどよろしくお願いします。コロナが開けてイベントが増えるのはいいことですが、会場と日程決めに頭を抱えることが増えています。



開館カレンダー

- ◆開館日 月・水～金曜日 9 時～19 時
土・日曜日 9 時～17 時
- ◆閉館日 毎週火曜日、国民の祝日、火曜日が祝日の場合その翌日も休館
※年末は 12 月 27 日(金)まで開館し、年始は 1 月 5 日(日)から開館します

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
10	6	7	8	9	10	11	12
月	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
11	3	4	5	6	7	8	9
月	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
12	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				